

福まち通信

第 9 号

発行 平成29年12月20日

発行責任者 センター長

西岡会館 4条5丁目8-21

電話・FAX 854-0537

師走も残り僅か、あわただしい毎日と思います。路面は滑ります、足元に十分お気を付けください。毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

12月の行事

- 3日(日) 札幌市「見守りの日」
- 11日(月) イオンの日
- 12日(火) 第8回代表推進員会議
- 21日(木) 西岡げんきランド
クリスマス会

1月の行事予定

- 3日(水) 札幌市「見守りの日」
- 9日(火) 第9回代表推進員会議
- 11日(木) イオンの日
- 23日(火) 西岡げんきランド・豆まき
- 31日(水) 役員会議

☆第2回安心安全研修会の開催結果～楽しんでボランティアを～

福まちでは、年間3回研修会を開催し、ひとり暮らし高齢者の見守り・サポート活動などに役立っています。

今回は、11月21日(水)10:00～にしおか会館で、札幌大学小山副学長(地域共創学群教授)をお迎えし、『まちづくりパートナー制度における福まち活動の係わりについて～異世代交流大学生との連携～』をテーマにお話を聞きました。

福まち推進員をはじめ、町内会長・自治会長、そして関係機関の方を含め78名と会場が溢れる程の参加の研修会でした。以下、研修会の主な内容をお知らせします。

◇押木センター長の開会あいさつ、次いで石川さん(事業部副部長)が、軽妙に講師の紹介を行い、和んだ雰囲気の中で、研修会が始まりました。

◇講師のプロフィール

生まれは、東京。小さい頃から野球、サッカーなどと、まさにスポーツ少年。

大学時代は、本格的にアメフト(アメリカンフットボール)をやり、大学生活を大いに満喫したとのこと？です。

一見して、逞しい雄姿で、厳しさと優しさも併せ持った包容力のある先生です。

日本大学からスタートし、現在は、札幌大学の教授として北海道との縁も深く、特に、まちづくりに力を注ぎ、さらに、日本ハムファイターズの応援も行うなど幅広く活躍されています。

◇次に、札大の活動に関して～地域と共に～

今年は、札大が50周年を迎えて、地域と共に歩む大学の活動が、いくつか説明があり、

○学外や地域の方を対象に、各分野で子育てサロンや地域の様々な活動のお手伝い、サポートなどの広範囲な活動支援。

○図書館は、学外の方も利用できるよう開放している。など

また、学部制を廃止し、1学群13専攻体制に変え、時代に沿った大学の変革を目指しています。

◇まちづくりパートナー制度に関しては、

企業や大学などがまちづくりに参加する『とよひらまちづくりパートナー制度』の特徴は、

- 多様なおもいをかたちに
- 得意分野をまちづくりに生かす。
- 多様なまちづくりを進めます。

共に生きる喜びを、豊平区「生活支援とよひらSOT(そっと)」の紹介もありました。

“よそ者、ばか者、若者がまちを変える！” マンネリの脱却につながるといわれています。

札大学生は、西岡地区町連の花植え活動への参加、そして西岡地区ふれあいボランティア除雪なども行っています。是非、大学生に活躍する場を与えてください。

◇次に、ボランティアについては、

他人や社会のために、**無償で**、**主体的に**、**自ら進んで社会活動に貢献すること**で、何も、特別な活動ではありません。「自分にも、できることがある」と気づくことが大切であり、大げさに考えないことです。

- 支え合って生きている。
 - ともに生きる喜びを
 - 必ず誰かに役立つことがある。こういった考えで活動することが良いのではとお話でした。
- また、集まりの盛り上げに、好きな色や好きな数字を挙げてもらうのも、効果的だとのこと。

◇今後の展開と期待～楽しんでボランティアを～

○学生にやろう！と呼びかけを、社会に出て困らない様に、教えてやってほしい。

元気に頑張ってもらいたい、手伝ってもらいたいと、声を掛けてください。

学生は非常識ではありません。無常識なだけですとの事。

若い学生と一緒に行動して明るく元気になりましょう。

○近年は、特に健康寿命が注目される時代です。

平均寿命が過去最高を更新し(女性 87.14 歳 男性 80.98 歳)、超高齢化の時代ですが、元気に自立した生活のために健康寿命をいかに伸ばすかが重要です。

小山先生のお母さん(千葉県在住 82 歳)は、“125 歳への挑戦”(吉村吉博先生の提言)と、意欲的に、楽しく、元気に暮らしているとのこと。

ボランティア活動では、自らが楽しむことも大切、“**福まちの皆さん！楽しんでいますか？**”と問いかけて頂きました。

活動の中で 感情を確認・点呼を、**名前を呼んであげる**、**話を聞いてあげる**といった「ヒーローインタビュー型」で接するのが良いとのこと。

○先生のお話は、ざっくばらんで、わかりやすい、熱意あふれた内容で、時間が足りず、「もっと聞きたいね」との声もありました。

福まちの活動は、楽しんでやるのが大切と再認識した有意義な研修会でした。

◇推進員の皆様には、この一年、本当にお疲れさまでした。心からお礼申し上げます。

関係機関、町内会長・自治会長の方々にはご支援を頂き、誠にありがとうございました。

新たな年が、明るい年でありますことを念じながら、第9号の発行報告といたします。